

きずな郷

第11号
2004冬

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成16年1月15日

謹賀新年

創設五十周年の年を迎えて

理事長 佐々木 忠 利

新しい年を迎えました。地方自治体では、半ば強制的な合併問題と、地方にばかり負担を求める三位一体の改革が大きな課題となっている昨今です。

本町では、鹿追町との合併が着々と準備されているようですが、成功を祈っております。福祉関係では基礎構造改革ということで、平成十二年四月から「介護保険制度」が発足し、平成十五年には一部見直しされました。一口に言って、「与えられた福祉」から「選ぶ福祉」への移行へと福祉の方向が変わってきました。

しかし現実には、「選ぶ福祉」が実践できるのでしょうか。例えば高齢者の方が身近なところにある老人ホームに入りたいと思っても、空きがなくて入れません。じゃあどうするのか、この展望が見えてきておりません。

こうした中で、私どもの厚生協会は町並びに町民各位の絶大なご支援を賜りながら、利用者各位の幸せを第一に考えつつ、「運営」から「経営」への方向転換を進めております。

一昨年の暮れも押し迫った十二月二十八日作業棟が半焼いたしました。明けて昨年は

- ・ ボランティアの榎本さん新得町善行賞受賞
- ・ 国際アビリンピック
- ・ 工事関係
- ・ 合同運動会
- ・ 利用者紹介
- ・ 各種大会
- ・ 祭
- ・ 施設訪問
- ・ 外出
- ・ その他

町内はもとより各地からこの災禍に対しまして、多大なお見舞い金をちょうだいいたしました。厚く御礼を申し上げます。

また、昨年の十一月二十九日には屈足わかふじ園利用者のお母さんが交通事故で亡くなり深い悲しみの中で葬儀が行われました。改めてご冥福を心よりお祈りいたします。

反面、わかふじ寮の技術指導員の梅坪正裕さん（五十二歳）がインドのニューデリーで開かれた第六回国際アビリンピック（障害者技能競技大会）の家具製作部門で日本人初の銅メダルを獲得しました。私も授産施設の製品の質がかなり高いことが証明されたと思います。

さて、本年は一昨年焼失した作業棟の新設を計画いたしましたところ、町財政逼迫の折ですが高額な補助金のご配慮を賜り、日本自転車振興会の助成と合わせて、十六年度中に建設したいと思っております。

なお、本年は昭和二十八年にわかふじ寮が創設されて、以来五十年の歳月が経過いたしました。その節目の年として、厚生協会の一層の発展を祈念して記念行事を企画しております。

一層のご支援とご協力、そしてご叱正を賜りますようお願いいたします。ごあいさついたします。

新得町善行賞受賞

榎本 一次氏

これまでの活躍

国鉄職員（機関士）を長い間勤められ、退職後は町の陶芸センターに勤め、その後平成三年より日帰りサービスセンターやすらぎ荘にボランティアとして活躍されています。

週に三回（火・木・土）参加されていて、利用者の皆さんとのコミュニケーション、入浴介助や昼食の配膳などのお手伝いを頂いています。最近では男性の利用者の方が増えているので入浴介助では、大変助かっております。町の事もよく知っており話題も豊富で、いつも皆さんを楽しませてくれています。

十二年間ボランティア活動を続けられ、日々大変な事もあったと思いますが、平成十一年に北海道知事より感謝状、平成十三年には厚生大臣より善行賞、そして今年十月に新得町より善行賞を受賞されました。

利用者の皆さんや職員にも信頼が厚く、お休みの時には「寂しい」という声も聞かれます。お忙しい中でのボランティア活動とありますが身体に充分気をつけて、これからも貢献して頂きたいと願っています。



本人よりコメント

日帰りサービスセンターやすらぎ荘にボランティア活動として通うことになり早くも十二年の月日が経ちました。当初は、利用者の皆さんと一日を過ごしていく為にどのような対応をしたらいいのか、また皆さんに嫌われたりはしないだろうか等、迷いを生じる日々もありましたが、活動をしていく事により思い過ごしであったと気づかされました。職員の方々が考案している身体に負担がかからなく楽しいゲームを行っているのですが、私自身も皆さんと一緒に夢中で楽しみ時間経つのも忘れる程で、センターに通う事が楽しく生き甲斐にもなっていました。これまでボランティア活動を続けて来られたのも皆さんのご協力あってこそその事であり、自分ながら大変幸せな事だと思っております。これからも続けて通う事ができると思いますので、皆さんが元気な姿で通って頂く事を願い、私も貢献していければと思っております。



国際アビリンピック梅坪指導員 3位入賞

11月23日～29日、第6回、国際アビリンピックがインド共和国のニューデリーで開催されました。わかふじ寮から指導員の梅坪正裕さんが代表として選ばれ、職業技能競技の家具製作部門において見事3位入賞されました。大会参加前から参加するのだったら、ぜひ上位入賞を目指したいと話していただけに嬉しい結果となりました。今回の大会には日本からは26名が部門別に参加され、北海道からは梅坪さんが只一人代表として選ばれ参加しました。

国際アビリンピックとは

障害者の職業的自立の意識を喚起するとともに、事業主及び社会一般に障害者の職業能力について理解と認識を求め、さらに国際親善を図ることを目的として、1981年の国際障害者年を記念して、日本で第1回大会が開催されて以来、概ね4年に1回開催されており今回が6回目となります。次回は4年後に日本の静岡で開催されます。



地域交流ホーム完成

昨年7月から工事が進められていた地域交流ホームがこの程完成し、12月20日引渡しを受けました。

これまで回廊型で設計されたわかふじ寮、第2わかふじ寮、わかふじワークセンターがつながっていなかったため、非常に不便でしたがこの工事の終了で回廊型が完成し、不便さを一気に解決できました。

総工費はおよそ101,000,000円で、日本自転車振興会(競輪)の補助金26,600,000円を主財源に、新得町の補助金が26,000,000円、残りが借入などの自己財源です。

建物は528.625で、多目的ホールを中心に、独立した玄関、トイレ、給湯室、ロビーが設置されています。多目的ホールは幅が12m、奥行き24mで面積は288(約87坪)あり、スクール式に机を並べると200名が座ることができます。ホールの中央部分はスライディングウォールで仕切れるようになっており、同時に2つの会議を開催することもできます。

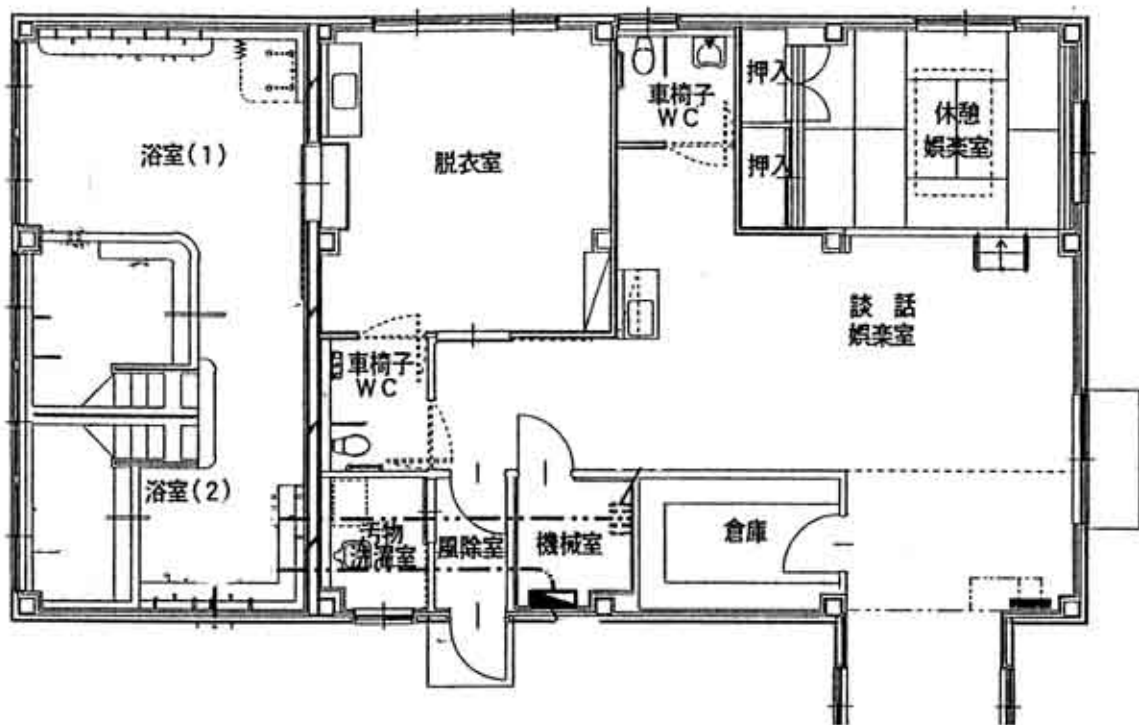
又、中央のロビーには、法人の創設者である藤川マキ糸氏と田中皎一氏の2人のレリーフが飾られています。このレリーフは、わかふじ寮家族会の皆様の提案で製作が始まり、図柄はわかふじ寮の開設当初、お2人が将来の夢を地面に書いている様子を銅版に刻んでいます。資金は家族会の寄付を中心に、関係有志に呼び掛けし製作されました。ご寄付頂いた皆様には紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。

尚、この地域交流ホームは町内会活動、サークル活動、各種会議など、地域の皆様にも無料でお貸しする予定ですので、町民の皆様のご利用をお待ちしています。



日帰りサービスセンターやすらぎ荘増築

念願だったデイサービス増築工事が平成15年8月18日より起工となりました。建物は鉄骨造りの平屋で延べ面積は210.06平方メートル(63.54坪)で新得やすらぎ荘デイホール西側に建設され、内部は設計図にもあるように、休憩娛樂室・談話娛樂室・車椅子対応トイレ・浴室(リフト付き)・洗濯室・倉庫・台所等が設備されました。以前のデイルームでは狭く、利用者の方々には不自由な面もありましたが、新築デイルームは広くなり少しでも快適な1日を過ごして頂ける事と思います。



わかふじ寮

研修旅行 1班

1日目は、鎌倉の大仏さんのある高徳院へと向かいました。高徳院へと向かう鎌倉市内の道路は広い北海道の道路に慣れている私達には「狭いねこれでも国道なの？」と驚きでしたが、大仏さんは台座も含め13.35メートル、目の長さだけでも1メートルもあると聞きビックリ。

2日目は伊豆半島を横断して、反対側の堂ヶ島温泉に向かいました。朝8時半ホテルを出発し城ヶ崎海岸にある門脇吊り橋を見学に行きました。門脇の吊り橋は高さ23メートル、長さ48メートルあり、太平洋の荒波が打ち寄せる断崖にかかっており、下を見ると足がすくんでしまい、橋の上でしゃがみこんでしまった人もいました。

3日目、旅行も最終日、伊豆・三津シーパラダイスへ向い、イルカやシャチのショーを見学、ここからも富士山をよく見る事ができ、昼食後、箱根に向けて出発、峠を登るにつれバスの窓からは雄大な富士の姿が益々大きく見えました。その後、富士の余韻を胸に箱根駅伝の中継点で有名な小田原のかまぼこ屋さんで、お土産を沢山買い帰路へとつきました。



研修旅行 2班

1日目はブドウ狩りを体験。ブドウは後日、箱詰めにて送ってもらえるとの事で、実際はブドウの試食になりましたが、ブドウ狩りが初体験だという利用者もあり、山梨名産のぶどうを美味しく食べていました。

2日目はワイン工場見学からスタート、工場の内部見学や、ワインの試飲をして回りました。お土産用にとワインを買い求める利用者が多く、レジに長い行列が出来ていました。

その後、富士五湖方面富士五湖の最大の湖である河口湖に到着。遊覧船で湖に出ると眼前に富士山が広がるはずでしたが、あいにく山頂に雲がかかっていたため見えませんでした。午後からは盲ろうの利用者と分かれて、それぞれ別行動をとりました。盲ろうの利用者は、手先で楽しめる内容にとの配慮から、陶芸を楽しむコースに参加し、コーヒーカップや湯のみなど自分の好きなものを選び作りました。他の利用者たちは富士急ハイランドで、気の合った同士と一緒に乗り物などのアトラクションを大いに楽しんで来ました。

3日目は、富士サファリパークへ向かい、さながらアフリカ大陸に来た気分になることが出来ました。午後、羽田空港へ向かう途中に、横浜ベイブリッジに立ち寄れるおまげがつき、帰路につきました。



特養の ヒーロー ヒロイン

(新得やすらぎ荘)

第7回目のヒーロー・ヒロインは、いつも元気な須田イヨさんです。毎日の体操や各行事等にも必ず参加されたり、週に一度の買い物に行かれたりと活発で行動的な方です。

また、ゲートボールが大変上手で施設内での練習や大会で活躍されています。声を掛けるといつも素敵な笑顔と優しい眼差しで応えてくれます。そんな須田さんは皆さんの人気者です。

池畑さん入所

(わかふじ寮)

池畑トシ(いけはたとし)さん

平成15年10月6日に北海道岩見沢市からわかふじ寮に入所されました。

手先が器用で、手芸や編み物が好き、演歌を聴いたり、踊るのが好きとのこと。徐々にわかふじ寮の生活に溶け込んでおられます。今後とも宜しくお願いします



第2回 北海道ろうあ者パークゴルフ交流会（わかふじ寮）

9月14日（日）～15（祝日）の2日間サホロリバーサイドパークゴルフ場において、第2回北海道ろうあ者パークゴルフ交流大会が開かれました。この大会は、全道各地のパークゴルフ愛好者の交流と技術の研鑽を目的として開催され今回が2回目の大会です。大会には、遠く函館からも参加がありました。地元十勝聴力障害者協会からは22名の参加があり、総勢65名の選手が技術を競いました。

競技成績

男子

1位	平田 常男
2位	山内 幸男
3位	川口 豊
5位	後藤 勝治
6位	豊田 嘉彰

女子

4位	川口 武子
6位	平田くに子

全国障害者スポーツ大会（わかふじ寮）

11月6日～10日、静岡県において全国障害者スポーツ大会が行われ、わかふじ寮から北海道代表として亀田尚志さん、本間久美子さんがそれぞれ陸上競技に参加されました。数ヶ月前から仕事終了後に練習を重ねた成果が実り、100mで見事、メダル獲得と成りました。細かな成績については下記の通りです。

氏名	種目	順位	種目	順位
亀田尚志	100m	2位	三段跳び	4位
本間久美子	100m	2位	ハンドボール投	5位

自治会パークゴルフ大会（わかふじ寮）

9月27日（土）サホロリバーサイドパークゴルフ場で自治会主催のパークゴルフ大会が開かれました。運動公園で行われる予定だった、Dクラスについては天気が悪く急遽フロアカーリング競技に変更して中学校の体育館で競技を行いました。競技はAクラスからDクラスに分かれ技を競いました。競技終了後は焼肉ハウスで表彰式とビンゴ大会を行い、焼肉を食べながらお互いの健闘をたたえ合いました。

競技結果

男子Aクラス1位	平田 常男	Bクラス1位	井上 勝	Cクラス1位	辻田 貴久	Dクラス1位	扇 精神
2位	岩田 俊成	2位	亀田 尚志	2位	市川 安男	2位	水沼 尚弘
3位	道端 均	3位	犬飼 正	3位	寺田 勝良	3位	越後 春夫
4位	後藤 勝治	4位	鈴木 司	4位	島津 義聡	4位	鹿野 昭之
5位	水本 昇	5位	田村 潔	5位	柳瀬 幸信	5位	佐々木欣一
6位	佐治 信也	6位	中野 勝弘	6位	山口 正博	6位	竹 賢三郎

女子Bクラス1位	小野 節子	Cクラス1位	幸 真智子	Dクラス1位	田中 節子
2位	加藤 憲子	2位	木村 恵	2位	松尾セツ子
3位	平田くに子	3位	横尾キクエ	3位	吉田 純子

屈足わかふじ園

富良野旅行

9月23日と9月31日の2班に分かれて行って来ました。1日目はアンパンマンショップで買い物をしたり、2階の美術館を見学したりしました。ログハウス調のコテージに宿泊し、別館で行なった夕食のバーベキューはとても美味しく、みんなお腹いっぱい食べました。

2日目は、チーズ工房でパン作りです。あんパンやちくわロールなど思い思いのパンを作り、焼きあがるまで、ドキドキしながら交互にかまどを覗きました。どれも上手に焼き上がり、みんなで美味しく食べました。

普段なかなか体験できなかったこと、普段から暖房を入れて頂きありがとうございます。



東京旅行

開設して以来、宿泊旅行と言えば登山学校しか行った事はありませんでしたが、今年は10月6日から10月8日にかけて東京ディズニーシーの旅行を計画し、4名の利用者の方が参加しました。施設としても大きな旅行でしたが、利用者の方も「私飛行機がはじめてなの」「車椅子で旅行なんて行けるのかしら」「お金は・・・」「荷物は・・・」等色々不安があったようです。しかし、旅行に行ってみれば不安は楽しさで吹き飛んだ様でした。

1日目の夕食は見た事もない豪華なバイキングを堪能しました。2日目ディズニーシーではキャラクターとのふれあいやエンターテイメント、おみやげの購入などそれぞれ楽しめた様子で、初めての大きな旅行としては大成功に終わったと思います。利用者の方も行く前は「障害を持っていて車椅子だから旅行なんて行けない」と思っていたようですが、今回の旅行で「障害を持っていても好きな旅行に行ける」という自信に繋がったようです。

合同運動会

九月十三日(土)わかふじ寮・やすらぎ荘・新得やすらぎ荘とたんぼ園の方との合同運動会は雨の為、町民体育館で行われました。競技は、わかふじ寮の「障害物競走」から始まり、次にやすらぎ荘、新得やすらぎ荘の「パン食い競争」が行われました。利用者皆さんはとも楽しそうに参加され、あたたかく美味しいパンをほおばっていました。その後、たんぼ園の子供達と一緒に「お買い物な」に「他四つの競技に参加され楽しんでおられました。

わかふじ寮三施設は五競技を行い、その中の「借り物競走」では施設長や職員の顔写真も入っている利用者の方々と一緒に走ったりと、とても楽しまれていた様子でした。今年の運動会は大接戦で最後の紅白リレーを勝ち取った紅組が優勝されました。

今回の町民体育館を使用するにあたり、早くから暖房を入れて頂く等の御協力を頂きました。



全国高齢聴覚障害者 福祉施設連絡協議会

利用者交流会

(やすらぎ荘)

恒例の全国聴覚障害者福祉施設連絡協議会利用者交流会が、今年は福岡県の田尻苑で九月二十九日に行われました。やすらぎ荘からは男性四名・女性四名の計八名の方が参加されました。今回初めて参加された谷内えみ子さんは、田尻苑の利用者の中に東京の施設で一緒だった方が居たようで、初日に福岡市内のホテルで行われた交流会で久しぶりの再会を喜んでおられました。翌日の九月三十日は福岡タワーを見学し、高い所から福岡の街並みと海を眺めた後、田尻苑に向かいました。最初に施設を見学し、その後田尻苑で用意してくれていたバーベキューを皆で美味しく頂きました。来年の再会を楽しみに田尻苑を後にしてから太宰府天満宮を参拝しました。ここでは猿の大道芸を偶然見ることもでき、皆さん喜んでおられました。今年は施設旅行と重なった為、交流会参加者は旅行に参加できなかったのですが、皆さんそれぞれ福岡の旅を楽しんでおられたようで、帰荘後他の方々に福岡での様子を話している姿が見られました。



十勝川温泉旅行

(やすらぎ荘)

10月28日～29日の1泊2日で養護・特養の利用者の方々、職員あわせて総勢26名により十勝川温泉に行ってきました。

初日は回転寿司のお店で皆さんが大好物のお寿司をお腹いっぱい食べ、その後、忠類ナウマン象記念館では大きなナウマン象のレプリカを見上げ、笑顔を見せていました。

ホテルでは、温泉に入ってゆっくりと過ごされる方、お部屋でのんびりとくつろぐ方と思い思いに楽しまれていました。

2日目は、あいにくの雨で予定変更もありましたが、十勝川に飛来する白鳥を間近で見ることができ、喜んで頂くことができました。



佐渡旅行

(やすらぎ荘)

10月1日～3日に利用者の皆さんが心待ちしていました2泊3日の旅行があり、今回は佐渡の観光旅行でした。

初日、快晴ではありませんでしたが移動で時間に追われ、残念ながら観光はできませんでした。ホテルにて夕食時に行われた佐渡おけさショーをご覧になって大変喜ばれていました。

2日目には、6カ所に渡り観光し、その中の「佐渡西三川ゴールドパーク」で行った砂金探しでは、必死で探しゃつとの思いでつかみ取った砂金を小さなケースにしまい大切に保管していました。そのあとには、たらい舟に乗り初体験だった為か大変喜ばれていて「もっと乗りたい」という声も上がっていました。

そんな楽しい日々もあったという間で、たくさんのお土産と素晴らしい思い出を抱え旅行は終わりました。



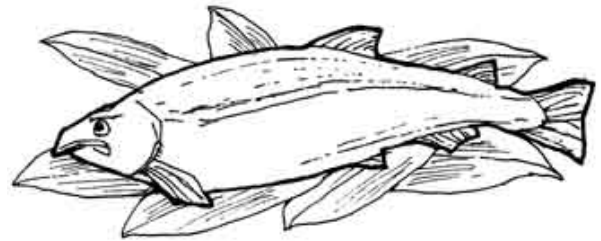
収穫祭

(屈足わかふじ園)

10月14日、利用者の方々が楽しみにしていた収穫祭が行われました。

収穫祭では、今年収穫されたカボチャやイモから作ったお団子、鮭のちゃんちゃん焼き、豚汁など、自然の恵みいっぱいの料理をいただきました。特にお団子は、収穫祭の数日前からたくさんの方がお団子作りに参加していたという事もあり、食べる楽しみだけではなく、作る楽しみも合わせて味わうことができました。

もちろん味の方も最高で、みんなで今年の豊作に感謝しつつ、お腹いっぱい秋の味覚を楽しみました。



大雪祭り

(屈足わかふじ園)

10月5日、この時期にしては暖かったこの日、近所の屈足公園で行われた大雪祭りへ見学に行きました。

会場では飲食物や置物などの様々な出店が並び、利用者の皆さんは普段あまり食べる事のない串やお好み焼きに舌鼓を打ち、それだけでとても満足そうな表情をしておられる方もいました。また、特設ステージでは和太鼓の演奏やテレビで放映中のアバレンジャーのショー・演歌ショーなどが行われ、それぞれ興味のある催し物を楽しみました。毎年名物となっている自転車の一本橋渡りは最も人気があり、泥沼に落ちてしまう競技者を見て大笑いしたり、見事に渡りきった方に驚いたりとても楽しい一日となったようです。

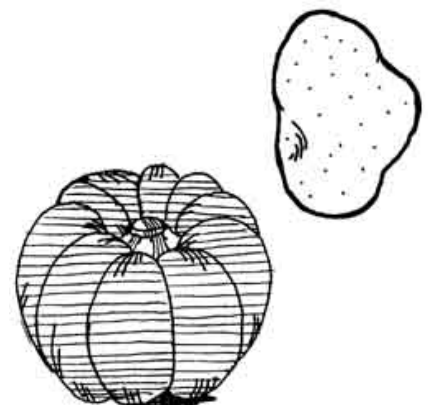


味覚祭

(やすらぎ荘)

9月18日に毎年恒例の秋の味覚祭が行われました。午前中から利用者の皆さんはイモやカボチャを丸めて団子を作ったり、鶏肉を串に刺したり等お手伝いをしてくださいました。作業をするにあたり上手にできた方やできなかった方それぞれでしたが、皆さん楽しそうに準備をされていました。

夕食時に味覚祭が開催され、いざ料理が運ばれてくると次々と食されて、特に鳥串がすぐに無くなってしまう程の人気ぶりでした。食べ終わると口を揃える様に「美味しかった」と大満足で、また来年も楽しみにしている様でした。



新得やすらぎ荘

床屋ボランティア

毎年来てくださっています帯広の床屋「コットン」の従業員の方々による散髪のボランティアが9月24日に施設内のデイホールにて行われ、年に一度という事もあり、利用者の皆さんは楽しみにしておられました。

今回は日帰りサービスセンターを利用されておられる方も一緒に参加されました。散髪を希望された方の中には、途中で気持ちよくなったためか眠りながらという場面も見受けられ、散髪だけではなく眉毛カットなどもして頂いて満足された顔で大変喜ばれていました。



わかふじ寮

新得手話サークル来寮

9月24日、新得手話サークル(20名)の皆さんが来寮され、「ふるさと」「かあさんの歌」「大きな古時計」などの童謡を手話で披露してくださいました。利用者の中には以前に聞いたことのある歌もあったようで、歌にあわせて一緒に手話を表現している方もおられ、余暇の楽しいひと時を過ごされていました。



屈足わかふじ園

お遊戯会

11月28日、屈足保育園の子どもたちがお遊戯を見せに来てくれました。

食堂に作られたステージの上で、パジャマ姿やタキシード・ドレス姿、ヒーロー姿の子どもたちがそれぞれの音楽に合わせて元気よく踊ったり、鍵盤ハーモニカや木琴、太鼓を使って「きらきら星」などの上手な演奏を聴かせてくれました。お遊戯の後には、利用者の方々との交流です。一緒に手遊びをしたり、また手作りのフォトフレームのプレゼントもありました。利用者の方々もお礼にお菓子のプレゼント。

1時間弱という短い時間でしたが、元気いっぱいの子もたちから、たくさんの元気と笑顔に分けてもらうことができました。

エステ

屈足わかふじ園では毎月一度、帯広より専門の方が施設に来られ、利用者にはエステを行なってきています。料金は通常の半額程度で一回につき500円~2500円と、とてもリーズナブルな金額です。いくつかの種類があり、ネイル・フェイシャルエステ・まつげパーマなどありますが男性不可となっているため、利用者全員が対象とはなっておりません。それでも実際に受けた利用者の反応はよく、希望者が少しずつ増えています。日頃からお肌の手入れは欠かしがちですが、皆さん綺麗になるばかりか心まで1~2歳若返ったように見えています。



やすらぎ荘

町民芸能芸術祭

利用者の皆さんが毎年楽しみにされている年に一度の行事です。今年は11月2日に開催され15名の方が舞台部門で参加されました。

踊りとして参加され、曲名は「きよしのズンドコ節」でした。練習ではなかなか揃うことが出来ずに不満の声も上がりましたが、練習に練習を重ねました。当日女性の方は髪に飾りを付けお化粧をすると、華いだ気分になられたのか、恥じらいを見せながらも嬉しそうでした。練習の甲斐あって皆さんの気持ちがピッタリ合い大変上手に踊ることが出来、町民の方々からたくさんの拍手とお誉めの言葉を頂きました。無事に踊り終えた皆さんは、緊張して舞台上上がった時とは別人の様に達成感と満足感で輝いて見えました。



やすらぎ荘

敬老会

九月七日に七十五歳以上の方を対象で新得町主催の敬老会が開かれ、やすらぎ荘の利用者の方々も式典に参加されました。

町長さんや来賓の方よりお祝いのお言葉を頂き、にこやかに参加されていました。

新得やすらぎ荘の中には、米寿にてステージ上で紹介され記念品を頂く方もおられました。

やすらぎ荘の方々は、午前の部のみの参加となりましたが、お祝いのお弁当を頂き、いつもとは違う食事を美味しそうに頂いていました。来年以降もずっと敬老会に参加できるように、これからもお元気で楽しく過ごして頂きたいと思います。



新得やすらぎ荘

紅葉見物

十月二十日に紅葉見物があり、十名の利用者の方が参加され、バスにて屈足ダムへいきました。この日は快晴で葉の色合いも良く、外出の機会が少ない利用者の方々も喜ばれ表情には笑顔が見られました。

参加された方の数名は自分でバスから降り、好みの落ち葉を探し拾っている様子も見られましたが、自力でバスから降りることが難しい方は職員が落ち葉を拾い一人一人の手に渡すと、その落ち葉を施設に帰るまで大事そうに持っておられる方もいました。

紅葉を見ながらジュースを飲んだり楽しい時間を過ごせたと思います。

日帰りサービスセンター やすらぎ荘

紅葉見物

10月15日～21日の期間バスにてレイク・イン（屈足ダム）に出かけました。

ダムの水に映し出されている山の様子が綺麗という事でレイク・インに行く事を決めましたが、風が吹いてなかなか見る事ができず、最終日ようやく赤や黄色に染まった山の様子を見る事ができました。いつもはバスから降りて外の景色を見る方は少ないのですが、今回は外に出て景色を楽しむ方が多くいました。きれいな風景を見る事ができて良かったと思いました。



わかふじ寮

文化祭

十月二十五日に文化祭が開かれました。今年の文化祭は鈴木司さん、柳瀬さんによるパークゴルフゲームの出し物から始まりました。ゲームに勝った人だけに景品がもらえるとあってか、景品目指して多数の利用者が舞台に集まり、ゲームを熱心に挑戦していました。

その次にたんぼぼ園のお遊戯があり、十一名の可愛い園児たちが緊張した表情で舞台に登場し、観衆客に愛嬌を振りまいていました。その後、新得高校六名の学生による手話を使ったお芝居の披露がありましたが、芝居の中に練習の後が随所に見られ、盛大な拍手がおくられました。一連の出し物が終わると、バイキングパーティーが始まり、美味しい料理に舌鼓を打ちながら歓談し、楽しい一日を締めくくることが出来ました。

屈足わかふじ園

福祉施設家族会交流会

10月9日(木)～10日(金)2日間に向け、定山溪にて社会福祉施設家族会交流会が行なわれました。道内6施設の家族会が参加し、屈足わかふじ園家族会からは3家族が参加されました。「人を動かす人間関係」と題した前北海道副知事佐々木亮子先生の講演では、性格判断テストによるそれぞれの自己評価を行なった他、これまでに培った経験を基に対人関係の能力を磨くコツなどを学びました。また、各家族会状況報告ではそれぞれの活発な状況を聞き、来年度活動の新たな意欲につなげる事が出来たのではないかと思います。

2日目は札幌山の手リハビリセンターを見学し、施設長の貴重な意見や家族会とのかかわりについてお話を伺う事が出来ました。来年は屈足わかふじ園家族会が当番施設となっています。来年度はより多くの家族の方が参加されることを期待します。

厚生協会

職員研修

10月22日にわかふじ寮の食堂にて社会福祉法人厚生協会職員の研修が開催されました。講師に学研パールの専任講師として御活躍されてます神岡守先生をご招待し、『豊かな感性と接遇』をテーマにご指導頂きました。

施設利用者方への対応法や人間関係、又組織向上を図る上で、職場の人間関係のあり方等の演説がありました。相手側に対し「伝える事」「聴く事」、一見簡単に出来る様な事と思いますが、人間関係においては非常に難しく、重要な事と教え頂きました。続いてテーマにもある“豊かな感性”を身につける為に必要な「自己啓発」について演説がありました。与えられた環境の中でどのような人生を送るのかその上で自身に問い掛け、自身に教え、己を向上していき人間性を豊かにする。“より豊かな人間関係”を重点に研修を受け、職員一同これまで以上に発展していく事と思います。



屈足わかふじ園

施設内カラオケ大会

十月二十二日にわかふじ園利用者によるカラオケ大会が催されました。

利用者二人、職員三人による審査員達の前で、利用者十人が十八番の歌で自慢ののどを競い合いました。その歌も懐かしい演歌から最近のヒット曲まで様々。普段からカラオケクラブは人気があって参加者も多いだけに、皆すばらしい歌声で、五人の審査員も点数をつけるのに迷ってしまっていたようです。

結局、優勝者と二位との点差はわずか一点という接戦。他にも「特別賞」や「頑張ったで賞」などの賞もあり、受賞者は少し照れたような、でもとても嬉しそうな様子でした。

御寄付・御寄贈ありがとうございました

平成15年9月1日～平成15年11月30日（敬称略）

【わかふじ寮】

札幌市 札幌聴力障害者協会
 札幌市 境 伊佐夫
 札幌市 菊池リヨ
 登別市 越後節子
 帯広市 道民生委員帯広支部
 帯広市 大関忠志
 苫小牧市 磯部 章
 苫小牧市 牧野武司
 新得町 J A 新得町
 新得町 高久教雄
 東京都 岸 良太郎
 羅臼町 大山勝男
 北広島市 北広島シルバー人材センター
 鹿追町 キヨ工物産 富名昭英
 小樽市 金子治郎
 根室市 刈屋妙子
 清水町 千年の森

【やすらぎ荘】

札幌市 喜多 真
 札幌市 伊坂正子
 横浜市 五月女妻
 釧路市 山本 守
 埼玉県 星名徳三郎
 美瑛町 堀川静香
 置戸町 中川 真
 社会福祉協議会
 北海道信用農業協同組合連合会

【新得やすらぎ荘】

新得町 平 儀一郎
 新得町 中村清吉
 新得町 谷口洋子
 新得町 紺野啓子
 新得町 増田夏江
 栃木県 横尾 実

鹿追町 キヨ工物産 富名昭英
 音更町 岡田美和子
 北滝町 滝本茂章
 札幌市 中村克雄

【屈足わかふじ園】

新得町 千葉玄昭
 清水町 丸山小百合
 新得町 深川芳夫
 福岡県 本末正夫
 福岡県 日野博愛
 帯広市 荒井洋子
 足寄町 高橋 敏
 赤平市 光生舎
 芽室町 藤澤三夫
 鹿追町 キヨ工物産 富名昭英

お知らせ

社会福祉法人厚生協会では、法人の情報をホームページで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けていますのでご利用ください。ホームページが新しくなり、アドレスが変更になりました。

ホームページアドレス

<http://www.officeamuse.co.jp/y/wakahuzi/>

閲覧

厚生協会の事業報告書・財産目録・貸借対照表及び収支計算書等が閲覧できます。

閲覧場所

厚生協会 法人事務局
 新得町西3条北1丁目わかふじ寮内

編集後記

今年の冬は例年になく、1ヶ月も早くインフルエンザが流行、全国的に大変な時期がありました。当施設ではそれ程影響もなく過ごすことができました。これから木の芽が芽生え始める時期、体調を崩すことが多くなります。体に充分注意をしてお過ごしください。

広報第11号編集委員

厚生協会 役員改選

11月15日に行われた評議員会によって平成15年12月24日から2年間の理事、監事の選任が行われ、下記の様に新たな役員が選出されました。高田芳恵理事の後任に平秀子氏。大関忠志監事の後任に中村幸一氏が新たに選出されています。

高田前理事、大関前監事、長きに渡りご苦勞さまでした。特に大関前監事については昭和56年から22年間、監事職として従事していただき、厚生協会の運営に対しご指導いただきました。大変ご苦勞さまでした。

（任期 平成15年12月24日～平成17年12月23日）

役職	氏名
理事長	佐々木 忠利
常務理事	田中 雅之
理事	斎藤 三男
理事	後藤 幸雄
理事	藤原 正志
理事	中村 岩夫
理事	平 秀子
監事	高橋 正
監事	中村 幸一